

事業所における自己評価表

有限会社どれみ どれみGrow

公表:2026年 4月 4日

事業所名 どれみGrow

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
環境・体制整備	①	利用者定員が指導訓練等スペースとの関係で適切であるか	○				
	②	職員の配置数は適切であるか	○				
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○				
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			日々のスタッフミーティングで、それぞれの立場で振り返りを行っています。	
	⑤	保護者等の向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			過去にいただいた保護者様の事業所評価の結果を事業所内で共有し、改善するよう努めています。	
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やページ等で公開しているか	○			どれみHPにて、公表しています。	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	2020年以来、外部評価は実施しておりません。	記録を文章だけでなく、客観的、数量的に計測可能なデータとして残すよう心がけています。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			月に2回の職員研修を行っています。	
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	○			フォーマル、インフォーマルなアセスメントを行い、一人ひとりの発達状態の把握に努め、5領域でのアセスメントを行い、支援計画を作成しています。	
	⑩	子ども適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			Vineland-IIによるアセスメントを行っています。また他機関での発達検査や知能検査の結果を参考に支援計画を作成しています。	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○				
	⑫	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	○			活動後に、毎回振り返りを行っていき、それぞれのお子さまの反応や、プログラム自体の反省を行いながら、次回につなげています。	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			学休日、長期休暇には、平日で行えないお出かけイベントなどを設定しています。	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで個別支援計画を作成しているか	○				
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎日、スタッフミーティングの中で、当日利用のお子さま一人ひとりに対しての関わり方について確認をしています。	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りをおこない、気付いた点等を共有しているか	○			スタッフミーティングでは、児童発達支援管理責任者を中心に、前日の支援の振り返りと、その日の支援前の打ち合わせを行っています。	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証改善につなげているか	○			全員でミーティングを行うことで、主観的ではなく、客観的な振り返りを行い、記録を残すように工夫をしています。	
	⑱	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			全てのお子さまとその保護者に対して3~6か月に一度モニタリングを行っています。	
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○				
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等の連絡体制を整えているか	-	-	-		

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等の間で情報共有と相互理解に努めているか		○		どれみGrowは3～4年生の児童が通所する場所なので、以前利用していたデイサービスとの情報共有をしています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等への移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		どれみGrowは3～4年生の児童が通所する場所なので、お子さまが次に利用される事業所への引継ぎや、情報共有をしています。	
	25	児童発達支援センターや発達障害支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			必要に応じて、連携を取らせていただいています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			近隣公園、市内の児童施設等の利用ができるよう活動計画を行っています。	
	27	(地域自立支援)協議会等への参加しているか			○		弊社役員が協議会の役員を担っており、必要な事項は当事業所を含め社内各事業所に共有されています。また、協議会主催の研修会等には適宜参加しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			HUG提供記録の中で、当日利用のお子さまの状況をお伝えしたり、個別に連絡をさせていただき共通理解を持てるようにしています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		面談の際に、お伝えさせていただくことがあります。	
保護者への説明責任等	30	運営規定、支援内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時、変更時に説明をしています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○				
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			法人内他事業所と合同で開催しています。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもの保護者に対して発信しているか	○			月に一度、事業所のどれみ通信を、HUGにて掲載しております。	
	35	個人情報に十分注意しているか	○			スタッフミーティングの中で、個人情報の取扱いに関して、何度も伝えるようにしています。	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○				
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			近隣大学の学生にボランティアをお願いすることがあります。	
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			HUGの活動記録の中に、保護者向けに説明文書をのせています。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			毎年、5月10月に避難訓練を行っています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			社内だけでなく、外部で行われる、虐待防止、権利擁護の研修にも、参加をしています。また、事業所内で定期的に虐待防止のチェックを行い、現場で抱えている問題について話し合いの時間を作っています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得たうえで個別支援計画に記載しているか	○			個別支援計画に記載させていただいています。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされているか	○			毎年アレルギー調査を行い、おやつ提供、食事提供時に、確認をするようにしています。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有されているか	○			事業所内だけでなく、どれみ全事業所で共有しています。	